

令和4年度事業報告

【運営に対する方針に基づく報告】

1. 新型コロナウイルスについて

職員には私生活での行動範囲制限や職場での感染症対策を継続して行っていたが、夏には第7波の影響を受け、5事業所でクラスターが発生し、3事業所で自主休業とした。冬に入ると第8波による感染拡大を受け、3事業所でクラスターが発生し、2事業所で自主休業を余儀なくされた。5回目のコロナワクチン接種については、大館保健所管内の感染状況も相まって12月～3月と、拠点によって集団接種の時期がわかれた。

12月下旬から3月末まで福祉サービスに従事する全ての職員を対象に、集中的検査として、1人につき週2回程度検査が出来る抗原定性キットが秋田県より配布され、必要な感染防止対策を的確に実施することが出来た。

今年度も利用者及びご家族の皆様には面会・外泊・利用制限など、ご迷惑とご協力を賜ったことに対しお詫びと感謝を申し上げたい。また、職員については、クラスター発生や人員不足による過度なストレスと疲弊があるなか、エッセンシャルワーカーとしてのプライドを持ってこの難局を乗り越えたことにも感謝申し上げたい。

2. 法人中期計画について

既存建物の老朽化対策と並行して、赤字事業が拠点内にあることを踏まえ、既存の事業の縮小と統廃合を検討していたが、赤字見込みや人員不足の状況を踏まえ、上半期は既存建物の老朽化対策より、人員不足による夜勤者の確保を最優先とし、高齢者GHの再編を計画した。また、収益等を考慮して、居宅介護支援事業所の再編及び白沢通園センターの定員削減検討も行った。

施設整備については、新築移転から20年目を迎える道目木更生園の空調設備更新を最優先とし、災害バルク補助金を活用する検討も行った。

3. 赤字決算について

今年度は、新型コロナウイルス第7・8波の影響による大幅な減収と、昨今の社会情勢による物価・原油高騰による支出増により、法人創設以来と思われる赤字決算となり、お詫び申し上げたい。

秋田県では感染者が発生した場合でもサービスを継続して提供出来るよう、サービス継続支援事業費補助金の申請が始まり、利用者感染が少なかった大館南を除き、7拠点で約830万円の補助金が交付された。

原油価格の高騰に伴う事業所への支援として、物価高騰対策事業費補助金が1月に示され、全拠点で申請を行い、法人全体で約660万円の補助金が交付された。また、電気料高騰を受け、冬の節電キャンペーンに法人全体で参加した結果、職員の協力により節電達成として約100万円の特典を受けた。

【支援・介護に対する方針に基づく報告】

1. 障害者虐待及び内部監査部門について

- ・ 障害者支援施設で利用者を屋外に放り出すと云う身体的虐待事案が発生した。職員の一時的な感情の高まりによる行為は許されるものではないが、施設内の職員関係、倫理観や理念の欠如と言った状況が垣間見られており、今回の教訓をもとに利用者の尊厳を守ることを職員に再徹底した。
- ・ 法人のガバナンスを確保するために、法人組織運営規程や法令遵守規程を整備して内部監査部門を定めていたが、内部監査人の選任及び業務を含めた要綱が未整備な状態が続いていた。この間に高齢者及び障害者の虐待があったことを重く受け止め、法人内に存在する法令違反を積極的に解決していくための内部通報制度として、内部監査人の業務を含めた要綱を作成した。

【地域社会に対する方針に基づく報告】

1. 大館市委託事業について

- ・ 4月から大館市総合福祉センター2階に「大館市地域活動支援センター」を開設した。障がいのある方が創作・余暇活動を行う日中活動と、日中ゆっくり過ごせる居場所支援を行い、毎週教室等の開催をしている。
- ・ 釈迦内・花岡・矢立地区から事業開始した「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な事業」は、令和4年度から田代地区も新たに受託し、配置する管理栄養士も兼務としたが、対象面積も広く移動や計画回数の実現も難しく、次年度に向けた協議を行った。
- ・ 4月から、属性や世代を問わず包括的に相談を受け止める「福祉まるごと相談支援事業」を釈迦内・花岡・矢立地区で受託した。

【福祉人材に対する方針に基づく報告】

1. 調理員の正職員採用及び採用不調について

- ・ 調理員の待遇改善及び、新卒者の募集を含めた人材獲得の為、調理師免許または食物調理技術検定取得を条件に調理員の正職員への採用を図った。
- ・ 今年度の新卒者の採用は大学、短大、高校の各1名と過去10年間と比べても応募者が少なかった。大館市の生産労働人口の減少もあるが、採用のあり方についても検討が必要な1年であった。

今後とも法人各拠点においては地域の社会資源として、また施設及び在宅サービスにおいては、利用者様の視点に立った質の高いサービスの提供に努めていくとともに、社会のセーフティネットを担う社会福祉事業者として役職員一丸となって事業にあたることをお誓い申し上げ令和4年度の事業報告と致します。

令和5年3月31日

社会福祉法人 大館圏域ふくし会
理事長 畠澤政一